

第3章 長野県北部地震における栄村の災害対応に関する実態

1. はじめに

本地震は、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生した3月11日14時46分のわずか13時間後、日付が変わった12日の早朝3時59分頃に発生した。この地震において、長野県栄村では、唯一の最大震度6強を観測した。しかしながら、前日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が、未曾有の大災害をもたらしている状況の中で、長野県北部地震（栄村大震災）は、忘れ去られがちな災害の典型的事例となってしまった。

本稿は、長野県北部地震（栄村大震災）が忘れてはならない甚大な災害であるとの認識のもと、震度6強を観測した長野県栄村の災害対応について、ヒアリング調査（平成23年8月16日（火）午後（実施））の結果を取りまとめ、報告するものである。

2. 長野県北部地震（栄村大震災）の概要

- ・発生日時：平成23年3月12日3時59分頃
- ・震央地名：長野県北部（北緯36.59度、東経138.36度）
- ・震源の深さ：8km（暫定値）
- ・規模：マグニチュード6.7（暫定値）
- ・最大震度6強：長野県栄村

（出典）平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第137報）平成23年8月25日（木）18時00分、消防庁災害対策本部

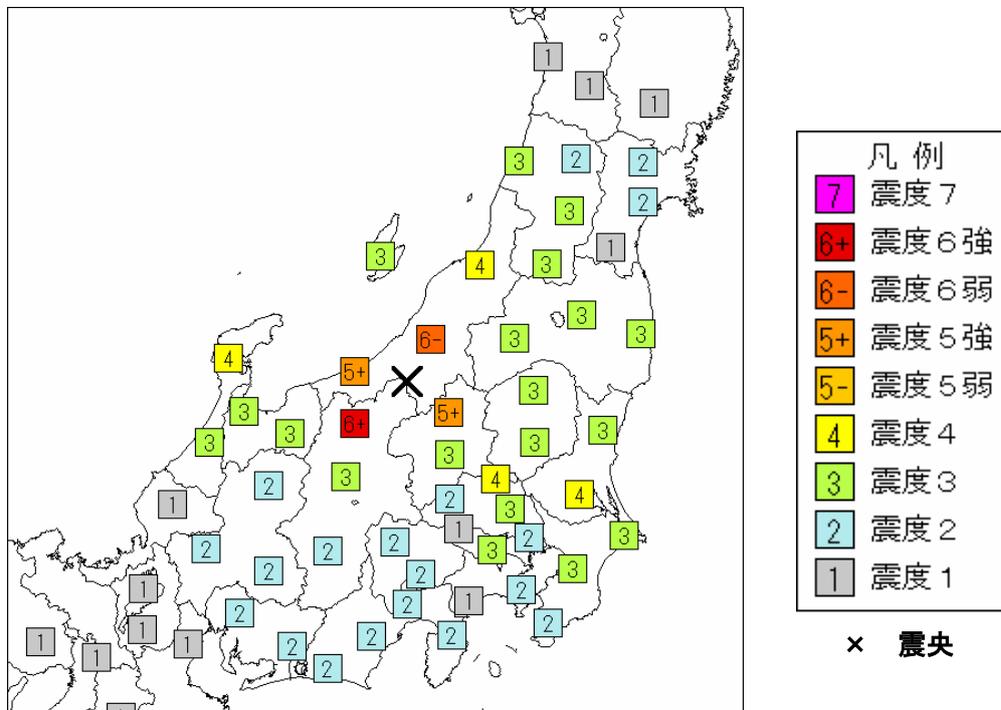


図3-1 長野県北部地震における震度分布図（出典：気象庁ホームページ）